

〔 7 〕 自然環境

7-1 自然環境関係

(1) 緑被状況

本町の植生で特に多いのはクヌギ・コナラで、町全体に分布しています。また市街化調整区域を中心として畑、果樹園も多く見られます。

緑被地現況量

(単位：h a)

	市街化区域	市 街 化 調 整 区 域	合 計
自然林	0. 0	0. 1	0. 1
スギ、ヒノキ等の人工林	4. 5	1 2. 3	1 6. 8
クヌギ、コナラ	2 9. 8	1 3 1. 1	1 6 0. 9
竹林	0. 0	0. 5	0. 5
ススキ、ササ	1. 1	8. 7	9. 8
水田	0. 2	1. 5	1. 7
畑	1 2. 8	4 8. 3	6 1. 1
果樹園	3. 8	8 3. 0	8 6. 8
裸地	6. 5	8. 0	1 4. 5
水面	4. 9	2. 7	7. 6
水辺	1. 7	1. 0	2. 7
都市公園の植栽地	5. 2	1 2. 3	1 7. 5
公共公益施設の植栽	0. 4	0. 9	1. 3
民有地の植栽地	1. 3	2 3. 0	2 4. 3
緑被地合計	7 2. 2	3 3 3. 4	4 0 5. 6
全体の面積	4 3 4	4 7 4	9 0 8
緑被率	1 6. 6 %	7 0. 3 %	4 4. 7 %

資料：都市計画基礎調査（平成 22 年度）

(2) 有害鳥獣等

野生鳥獣による農作物被害への対策として、有害鳥獣等の駆除を行うため、檻の貸し出し(イノシシ・ハクビシン・タヌキ・アライグマ・シカに対するもの)を行っています。鳥獣の捕獲は事前に町及び県、国へ申請し、許可を得ることが原則となっています。

捕獲数

・イノシシ 25頭 ・ハクビシン 9頭 ・タヌキ 2頭
 ・アライグマ 10頭 ・カラスの雛 3羽